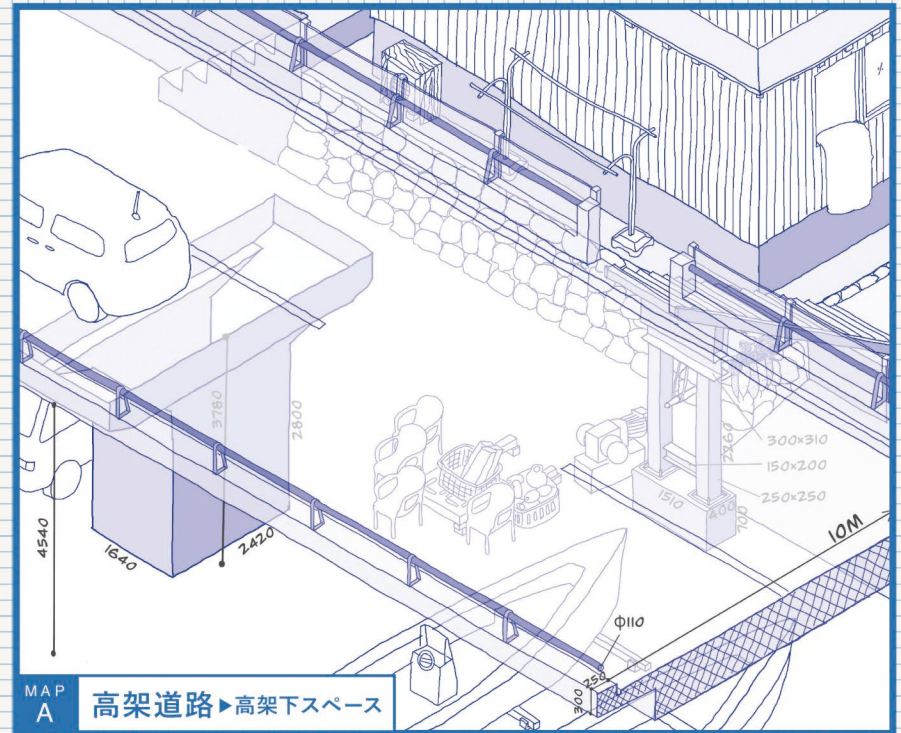




甲楽城 かぶらき

ReSEARCH of PLACEs



形のように。

仕事も生活も一緒にたになっている
自然な居心地の良さは、初めて見た
方にとっては新鮮でおもしろく、思
わずカメラを向けてしまう風景、地

の椅子、テーブルが高架下であり、憩
いの「生活空間」になっている。
階段に干された布団、漬物用の大根、
引退した漁師のおっちゃん達がいつ
も座って海を眺められるあり合わせ
の椅子、テーブルが高架下であり、憩
いの「生活空間」になっている。

そんなふうにならなくなった高架下のス
ペースは、漁船を引き上げるウイン
チ（重い物をけん引するための機
械）、網やカゴなどの漁具、それを修
理する工具：魚をするために欠か
せない道具が置かれる「作業空間」
として機能する。他には、物干し竿や
階段に干された布団、漬物用の大根、
引退した漁師のおっちゃん達がいつ
も座って海を眺められるあり合わせ
の椅子、テーブルが高架下であり、憩
いの「生活空間」になっている。

甲楽城漁港を歩いてみて、なんだか
【家】と【港】が近いと感じた。これは
国道の道幅を広くする工事を行った
際、海岸を埋め立てずそのまま波
止場の真上に高架道路を掛け渡し
たからだそうだ。この波止場は今で
も船の停泊に使われている。